

衛 研 第 2 - 8 号
平成29年 5月24日

感染症発生動向調査事業
各 関 係 機 関 の 長 様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
3. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
4. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
5. 全国及び関東情報
6. Saitama Infectious Agents Surveillance Report
Topics（流行期のインフルエンザウイルス検出状況について）
7. 今週の流行状況

担 当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電 話 0493-59-9325
F A X 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 20 週（平成 29 年 5 月 15 日～平成 29 年 5 月 21 日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類、二類(結核を除く)及び三類感染症の届出はなかった。四類感染症は、A型肝炎 1 人、レジオネラ症 1 人の届出があった。五類感染症は、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、急性脳炎 3 人、後天性免疫不全症候群 2 人、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 3 人、梅毒 5 人、麻しん 1 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、咽頭結膜熱(0.64 0.57 : 図 1)の定点当たり報告数は前週と同水準に留まったが、今後の動向に注意が必要である。保健所別では 14 保健所管内から報告があり、本庄(1.25)、朝霞(1.07)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では 0～3 歳で 75.3%を占めている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(3.98 3.94 : 図 2)の定点当たり報告数は前週と同水準であった。保健所別では、春日部(7.67)、熊谷(7.56)、川口(6.00)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患である流行性角結膜炎(1.00 1.15 : 図 3)の定点当たり報告数は 3 週連続で増加し、前年の同時期より多い。感染性胃腸炎(9.95 9.00 : 図 4)の定点当たり報告数は前週と同水準であった。保健所別では、春日部(9.67 14.50)保健所管内で大きく増加し、坂戸(15.83)、熊谷(13.00)保健所管内からの報告が多い。他の眼科定点報告対象疾患では、急性出血性結膜炎 3 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、細菌性髄膜炎 1 人、マイコプラズマ肺炎 2 人、感染性胃腸炎(ロタウイルス) 5 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし(結核を除く)
三類感染症	報告なし
四類感染症	A型肝炎 1人(推定感染地域 国外)
	レジオネラ症 1人(病型 肺炎型)
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1人(菌種 <i>Enterobacter</i> sp.)
	急性脳炎 3人(病原体 アデノウイルス 1人、不明 2人)
	後天性免疫不全症候群 2人(病型 AIDS 1人、 無症状病原体保有者 1人)
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 1人
	侵襲性肺炎球菌感染症 3人
	梅毒 5人(病型 早期顕症 期 2人、 早期顕症 期 2人、 無症状病原体保有者 1人)
	麻しん 1人(病型 修飾麻しん(検査診断例))

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 咽頭結膜熱

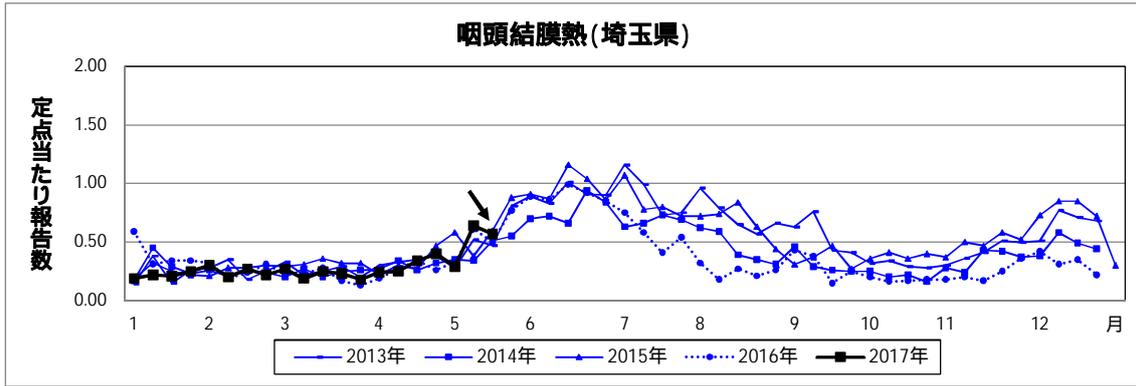


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

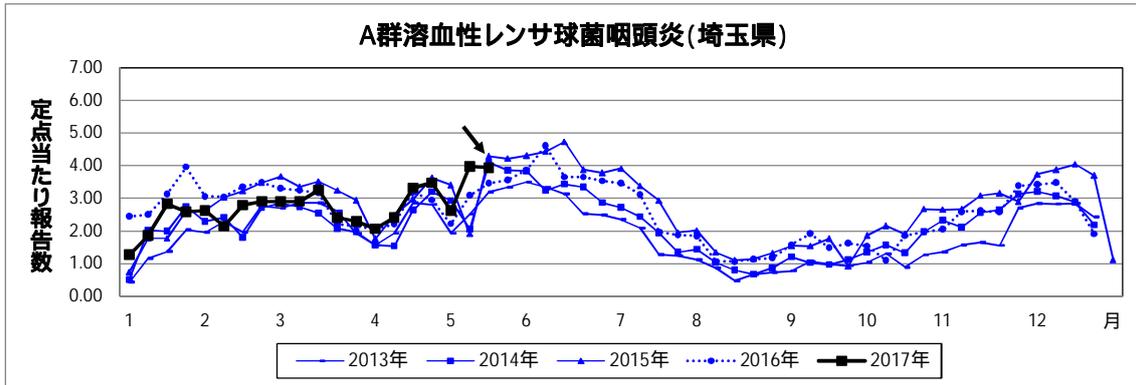


図3 流行性角結膜炎

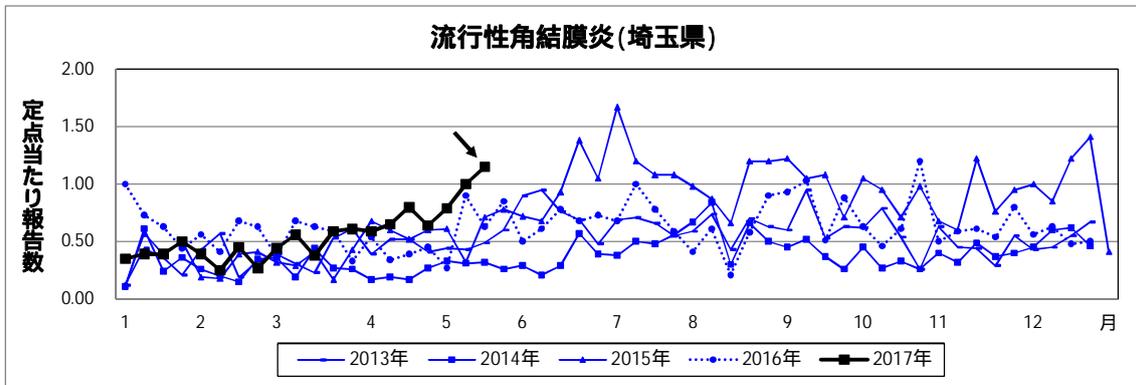
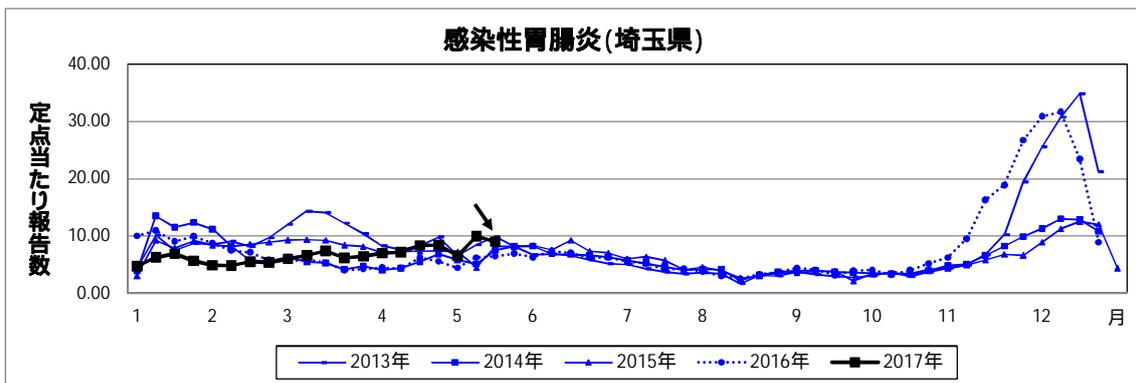


図4 感染性胃腸炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第20週)

(2017年5月23日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		
細菌性赤痢		3	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症		31			
四類感染症					
E型肝炎		9	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎	1	7	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	1	15
つつが虫病			レプトスピラ症		1
デング熱		6	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		21	侵襲性肺炎球菌感染症	3	67
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘*		8
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	26	先天性風しん症候群		
急性脳炎	3	21	梅毒	5	67
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	破傷風		1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		9	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	2	13	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		5
ジアルジア症			風しん		2
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	7	麻しん	1	5
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		4
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	3	1		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査 週情報										報告患者数										保健所別										平成29年5月15日～平成29年5月21日)									
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎(口ウイルス)	インフルエンザ(入院)																			
全	195	28	93	639	1458	76	20	14	110	2	9	75	3	46	1	2	2	2	5	-	-																			
川	0.76	0.17	0.57	3.94	9.00	0.47	0.12	0.09	0.68	0.01	0.06	0.46	0.08	1.15	0.10	0.20	0.20	0.20	0.50	-	-																			
朝	24	5	11	102	212	9	6	-	17	1	-	1	-	16	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	0.92	0.29	0.65	6.00	12.47	0.53	0.35	-	1.00	0.06	-	0.06	-	3.20	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	11	1	15	63	146	7	1	1	9	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.52	0.07	1.07	4.50	10.43	0.50	0.07	0.07	0.64	-	-	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
鴻	20	5	9	58	84	3	-	3	5	-	-	10	1	5	*	*	*	*	*	*	*																			
鴻	1.05	0.42	0.75	4.83	7.00	0.25	-	0.25	0.42	-	-	0.83	0.33	1.67	*	*	*	*	*	*	*																			
東	5	-	1	17	31	1	2	-	2	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-																			
東	0.63	-	0.20	3.40	6.20	0.20	0.40	-	0.40	-	-	0.40	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-																			
秩	2	-	-	4	4	-	-	4	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-	-	-	-																			
秩	0.40	-	-	1.33	1.33	-	-	1.33	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-	-	-	-																			
本	4	-	5	4	10	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-																			
本	0.57	-	1.25	1.00	2.50	-	-	-	0.75	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-																			
熊	20	-	4	68	117	4	-	1	8	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
熊	1.43	-	0.44	7.56	13.00	0.44	-	0.11	0.89	-	-	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
加	4	3	-	9	1	5	-	-	5	-	-	4	-	-	*	*	*	*	*	*	*																			
加	0.40	0.50	-	1.50	0.17	0.83	-	-	0.83	-	-	0.67	-	-	*	*	*	*	*	*	*																			
春	4	-	4	46	87	1	2	1	3	1	2	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*																			
春	0.40	-	0.67	7.67	14.50	0.17	0.33	0.17	0.50	0.17	0.33	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*																			
幸	4	3	7	20	62	6	-	1	2	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
幸	0.29	0.33	0.78	2.22	6.89	0.67	-	0.11	0.22	-	-	0.56	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
坂	6	-	1	5	95	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
坂	0.60	-	0.17	0.83	15.83	0.17	-	-	-	-	-	0.83	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
草	12	4	8	30	87	4	3	1	6	-	-	3	-	2	*	*	*	*	*	*	*																			
草	0.63	0.33	0.67	2.50	7.25	0.33	0.25	0.08	0.50	-	-	0.25	-	0.67	*	*	*	*	*	*	*																			
狭	10	2	10	48	114	12	5	1	9	-	1	13	1	6	-	-	2	2	3	-	-																			
狭	0.40	0.13	0.63	3.00	7.13	0.75	0.31	0.06	0.56	-	0.06	0.81	0.20	1.20	-	-	2.00	2.00	3.00	-	-																			
川	11	-	3	35	53	8	-	-	4	-	2	9	-	-	*	*	*	*	*	*	*																			
川	0.85	-	0.38	4.38	6.63	1.00	-	-	0.50	-	0.25	1.13	-	-	*	*	*	*	*	*	*																			
越	2	3	6	35	49	2	-	-	5	-	3	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-																			
越	0.15	0.38	0.75	4.38	6.13	0.25	-	-	0.63	-	0.38	0.25	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-																			
さい	56	2	9	95	306	13	1	1	32	-	1	13	1	15	1	1	1	1	1.00	-	-																			
さい	1.37	0.07	0.33	3.52	11.33	0.48	0.04	0.04	1.19	-	0.04	0.48	0.13	1.88	1.00	-	-	-	1.00	-	-																			

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 5月 23日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第20週 平成29年5月15日～平成29年5月21日)

	合計																				
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	
インフルエンザ #1	195	-	4	6	10	17	15	13	13	11	12	10	33	22	9	3	9	4	1	-	3
RSウイルス感染症	28	5	7	12	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	93	1	11	25	19	14	8	5	3	2	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	639	-	3	22	28	64	75	88	93	76	58	30	58	6	38	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,458	15	109	205	139	180	149	116	107	71	71	49	117	20	110	-	-	-	-	-	-
水痘	76	-	3	1	3	6	9	9	19	13	4	4	4	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	20	-	2	10	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	14	-	2	2	-	2	1	2	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	110	1	35	61	6	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	9	-	-	4	2	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	75	-	-	-	2	6	9	14	7	3	12	8	14	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	46	-	1	-	4	2	1	2	2	-	1	-	5	2	5	11	6	3	1	-	-
細菌性髄膜炎 #2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 17 週

(4月24日～4月30日)

平成29年5月24日

インフルエンザの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(9.44)、北海道(7.23)、新潟県(7.13)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は136例と前週と比較して減少した。都道府県別では35都道府県から報告があり、年齢別では0歳(6例)、1～9歳(42例)、10代(7例)、20代(5例)、30代(3例)、40代(7例)、50代(1例)、60代(9例)、70代(12例)、80歳以上(44例)であった。

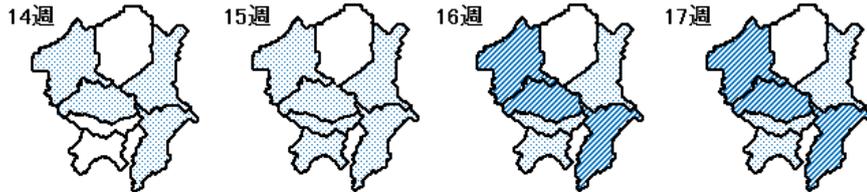
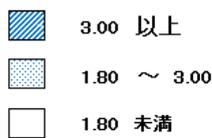
RSウイルス感染症の報告数は880例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は奈良県(1.47)、鹿児島県(1.31)、岩手県(1.15)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は鳥取県(7.68)、山形県(7.67)、北海道(4.30)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県(15.32)、石川県(12.59)、大分県(10.39)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.78)、福岡県(0.68)、鹿児島県(0.65)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(3.39)、佐賀県(2.95)、広島県(1.75)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は島根県(0.26)、愛媛県(0.24)、山形県(0.23)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は長野県(2.35)、鳥取県(1.79)、愛媛県(1.70)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は山形県(0.90)、青森県(0.83)、奈良県(0.83)、石川県(0.80)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。46都道府県から398例報告があり、年齢別では0歳(39例)、1～4歳(263例)、5～9歳(81例)、10代(9例)、20代(1例)、40代(1例)、50代(1例)、60代(1例)、70歳以上(2例)であった。

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、群馬県(4.00)、埼玉県(3.48)、千葉県(3.32)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



		平成29年 17週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	15,467	4,974	278	267	381	1,000	758	1,285	1,005
	定点当たり	3.13	3.29	2.32	3.51	4.01	3.92	3.53	3.12	2.98
RSウイルス感染症	報告数	880	172	6	5	3	29	18	70	41
	定点当たり	0.28	0.18	0.08	0.10	0.05	0.18	0.13	0.27	0.20
咽頭結膜熱	報告数	1,508	309	19	17	24	63	31	102	53
	定点当たり	0.48	0.33	0.25	0.35	0.41	0.39	0.23	0.39	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	8,482	2,682	209	56	232	560	448	671	506
	定点当たり	2.69	2.83	2.79	1.17	4.00	3.48	3.32	2.58	2.41
感染性胃腸炎	報告数	20,805	6,846	427	167	432	1,346	910	2,107	1,457
	定点当たり	6.60	7.23	5.69	3.48	7.45	8.36	6.74	8.10	6.94
水痘	報告数	1,148	357	34	20	5	48	38	109	103
	定点当たり	0.36	0.38	0.45	0.42	0.09	0.30	0.28	0.42	0.49
手足口病	報告数	1,366	88	2	4	7	5	8	42	20
	定点当たり	0.43	0.09	0.03	0.08	0.12	0.03	0.06	0.16	0.10
伝染性紅斑	報告数	214	67	6	1	11	11	4	21	13
	定点当たり	0.07	0.07	0.08	0.02	0.19	0.07	0.03	0.08	0.06
突発性発しん	報告数	1,646	529	28	27	33	95	76	163	107
	定点当たり	0.52	0.56	0.37	0.56	0.57	0.59	0.56	0.63	0.51
百日咳	報告数	25	6	-	-	-	1	-	2	3
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.01	-	0.01	0.01
ヘルパンギーナ	報告数	214	31	1	1	8	5	7	5	4
	定点当たり	0.07	0.03	0.01	0.02	0.14	0.03	0.05	0.02	0.02
流行性耳下腺炎	報告数	1,664	283	7	9	37	72	45	42	71
	定点当たり	0.53	0.30	0.09	0.19	0.64	0.45	0.33	0.16	0.34
急性出血性結膜炎	報告数	10	4	-	-	-	1	2	-	1
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.03	0.06	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	386	167	17	3	7	25	23	18	74
	定点当たり	0.56	0.82	1.00	0.25	0.50	0.64	0.70	0.46	1.51
細菌性髄膜炎 #2	報告数	17	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.04	0.01	-	-	-	-	0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	16	2	-	-	1	-	-	1	-
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	0.13	-	-	0.04	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	120	16	4	1	2	2	2	3	2
	定点当たり	0.25	0.20	0.31	0.14	0.25	0.20	0.22	0.13	0.20
クラミジア肺炎 #3	報告数	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	398	89	5	15	34	4	11	6	14
	定点当たり	0.84	1.10	0.38	2.14	4.25	0.40	1.22	0.25	1.40

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

全国・関東情報 第 18週

(5月1日～5月7日)

平成29年5月24日

インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(8.86)、新潟県(5.46)、北海道(4.39)、福島県(4.39)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は107例と前週と比較して減少した。都道府県別では37都道府県から報告があり、年齢別では0歳(6例)、1～9歳(30例)、10代(5例)、20代(1例)、30代(2例)、40代(2例)、50代(4例)、60代(12例)、70代(10例)、80歳以上(35例)であった。

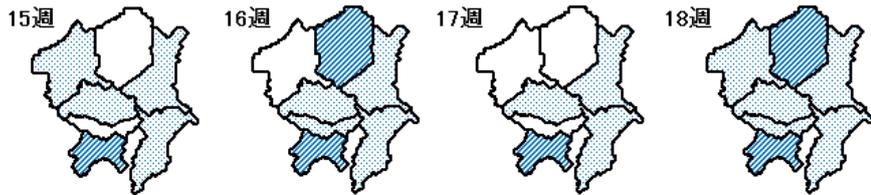
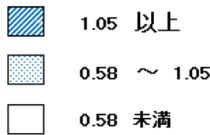
RSウイルス感染症の報告数は592例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.51)、奈良県(0.94)、宮崎県(0.89)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(6.10)、鳥取県(5.47)、岩手県(3.28)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福井県(14.95)、石川県(9.90)、大分県(9.58)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は福岡県(0.60)、福井県(0.59)、佐賀県(0.59)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(3.36)、宮崎県(2.83)、広島県(1.85)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.19)、宮崎県(0.19)、群馬県(0.18)、高知県(0.17)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は島根県(2.43)、和歌山県(1.63)、新潟県(1.39)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.14)、愛知県(0.53)、福岡県(0.53)、宮城県(0.50)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。45都道府県から299例報告があり、年齢別では0歳(30例)、1～4歳(179例)、5～9歳(74例)、10代(10例)、30代(2例)、50代(1例)、60代(1例)、70歳以上(2例)であった。

＜関東情報＞

流行性角結膜炎の定点当たり報告数は、栃木県(1.58)、神奈川県(1.29)からの報告が多い。

流行性角結膜炎



		平成29年 18週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	10,001	2,799	184	174	262	571	411	724	473
	定点当たり	2.03	1.86	1.53	2.29	2.79	2.30	1.93	1.75	1.39
RSウイルス感染症	報告数	592	122	4	2	9	26	12	53	16
	定点当たり	0.19	0.13	0.05	0.04	0.16	0.17	0.09	0.20	0.08
咽頭結膜熱	報告数	1,368	277	23	20	11	46	42	87	48
	定点当たり	0.43	0.29	0.31	0.42	0.19	0.29	0.31	0.33	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,338	2,061	164	63	132	411	363	510	418
	定点当たり	2.01	2.18	2.19	1.31	2.32	2.62	2.71	1.95	1.96
感染性胃腸炎	報告数	16,215	5,084	324	101	410	1,029	634	1,532	1,054
	定点当たり	5.15	5.38	4.32	2.10	7.19	6.55	4.73	5.87	4.95
水痘	報告数	934	283	38	13	10	35	36	82	69
	定点当たり	0.30	0.30	0.51	0.27	0.18	0.22	0.27	0.31	0.32
手足口病	報告数	1,388	111	4	3	11	10	12	48	23
	定点当たり	0.44	0.12	0.05	0.06	0.19	0.06	0.09	0.18	0.11
伝染性紅斑	報告数	194	77	4	1	10	12	6	36	8
	定点当たり	0.06	0.08	0.05	0.02	0.18	0.08	0.04	0.14	0.04
突発性発しん	報告数	1,285	400	16	25	27	75	53	120	84
	定点当たり	0.41	0.42	0.21	0.52	0.47	0.48	0.40	0.46	0.39
百日咳	報告数	14	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.00	0.00	-	-	-	0.01	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告数	200	35	2	1	7	3	9	10	3
	定点当たり	0.06	0.04	0.03	0.02	0.12	0.02	0.07	0.04	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	1,371	248	11	7	33	70	30	38	59
	定点当たり	0.44	0.26	0.15	0.15	0.58	0.45	0.22	0.15	0.28
急性出血性結膜炎	報告数	7	4	-	-	-	3	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.08	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	391	191	13	19	11	30	30	26	62
	定点当たり	0.57	0.95	0.76	1.58	0.85	0.79	0.86	0.68	1.29
細菌性髄膜炎 #2	報告数	4	3	-	-	-	1	1	1	-
	定点当たり	0.01	0.04	-	-	-	0.10	0.13	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	13	3	-	-	1	-	-	1	1
	定点当たり	0.03	0.04	-	-	0.13	-	-	0.04	0.10
マイコプラズマ肺炎	報告数	100	9	4	-	2	-	-	1	2
	定点当たり	0.21	0.11	0.31	-	0.25	-	-	0.04	0.20
クラミジア肺炎 #3	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	299	69	9	9	30	9	2	7	3
	定点当たり	0.63	0.85	0.69	1.29	3.75	0.90	0.25	0.28	0.30

#1 鳥インフルエンザを除く

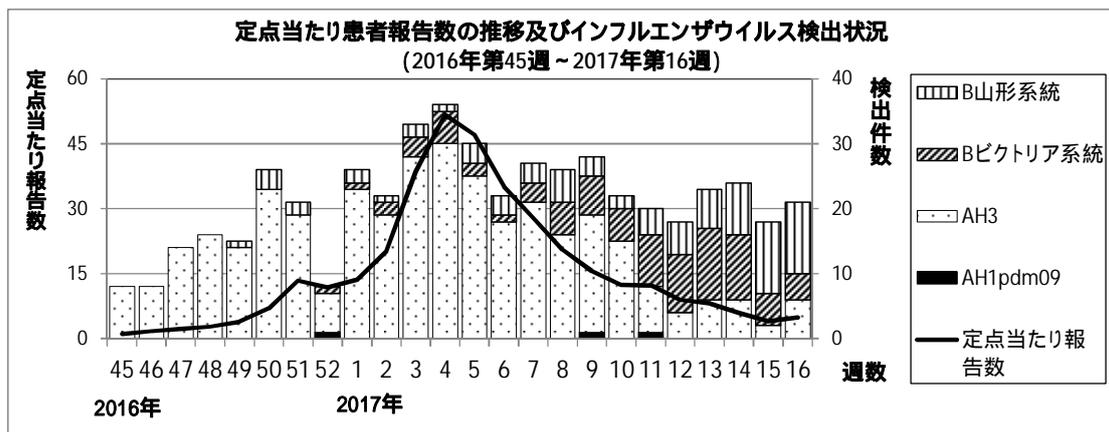
#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

流行期のインフルエンザウイルス検出状況について

感染症発生動向調査に基づく埼玉県の 2016/17 シーズンのインフルエンザの状況は、2016 年第 45 週（11 月 7 日～13 日）に定点当たり患者報告数が 1 を超えて流行期に入り、2017 年第 4 週に 51.68 でピークに達しました。今回は、2016 年 11 月から 2017 年 4 月までに病原体定点医療機関から 544 検体採取され、埼玉県衛生研究所で実施した検査では AH1pdm09 が 3 件、AH3 亜型が 356 件、B 型が 159 件（山形系統 76 件、ビクトリア系統 83 件）、A 型亜型未確定のウイルスが 2 件検出されました。今シーズンのインフルエンザの主たる流行ウイルスは、AH3 亜型であり、B 型は年明け以降、徐々に広がったことが確認されました。さらに春（第 12 週）以降は、B 型の検出が優位になりました。



2016/17 シーズンの全国の各型及び亜型のインフルエンザウイルス分離株について、抗インフルエンザ薬に対する耐性変異の有無を国立感染症研究所が調査したところ、AH1pdm09 の 141 株中 2 株（1.4%）にオセルタミビル及びペラミビル耐性が認められました。AH3 亜型 262 株、B 型 77 株には耐性は認められませんでした。また、2016 年 9 月から 2017 年 2 月までに県域で検出された AH1pdm09 3 株、AH3 亜型 47 株及び B 型 32 株について、遺伝子解析したところ、耐性変異は検出されませんでした。

なお、感染症発生動向調査においてインフルエンザの定点当たり報告数が第 20 週（5 月 15 日～21 日）に 0.76 となり 1.00 を下回りましたので、今後は検体提出機関当たりの採取数は各月 1 検体となります。病原体定点医療機関の先生方には、引き続き検体採取への協力をお願いします。

・インフルエンザに関する最新の全国情報は、国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページ (<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>) でご覧になれます。

感染症発生動向調査 2017年

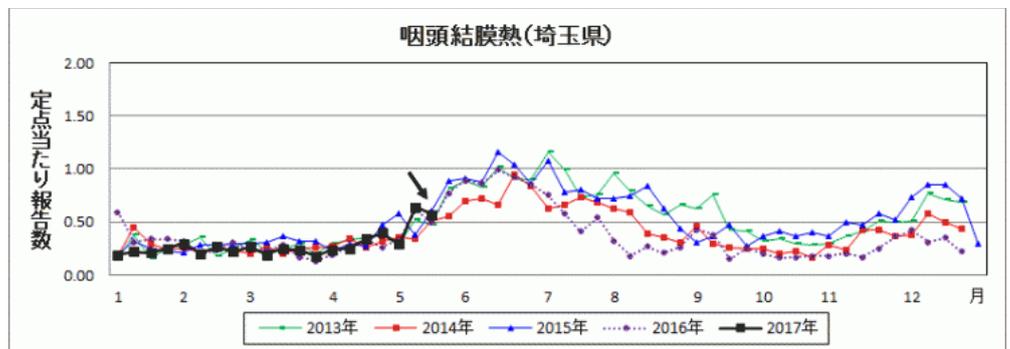
- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第19週](#)

感染症の流行状況 2017年 第20週

2017年第20週（平成29年5月15日～5月21日）の要点 平成29年5月24日

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まりましたが、今後の動向には注意が必要です。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★★	ヘルパンギーナ	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★★
水痘(みずぼうそう)	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	↑	★	流行性角結膜炎	↑	★★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン